

令和5年度（第45回）千葉県鶏卵品質改善共進会審査報告

令和5年度（第45回）千葉県鶏卵品質改善共進会の開催にお祝い申し上げます。

審査は、10月11日に八街の千葉県畜産総合研究センターにおいて「令和5年度千葉県鶏卵品質改善共進会開催実施要領・鶏卵審査基準」にもとづき、外観および割卵による内部卵質の両面からの審査を実施しました。

今回は、生産者の皆様の積極的な参加により、県内全域から107点の出品がありました。これら出品鶏卵の銘柄と出品数は、ボリスブラウン33点、もみじ9点、ソニア22点、ジュリア12点、ジュリアライト25点、マリア2点、バブコックB-400 2点、アローカナ交雑鶏2点の計8銘柄でした。去年と比べると赤玉卵の出品数は、ボリスブラウンが2点減り、もみじが3点増え計42点（39%）、白玉卵は、ジュリアが5点減り、ジュリアライトが3点増え計41点（38%）でした。また、ピンク卵の出品数は13点減り計22点（21%）でした。

今年度の割卵による卵質は70点満点中平均得点が68.5点と優れており、外観審査と内部卵質を併せた合計平均得点は96.9点と非常に高得点となりました。特に農林水産大臣賞を受賞した鶏卵をはじめ、上位10点は98点以上で、外観・内部卵質ともにすばらしいものでした。また、今年度の7位までは、ジュリアライト、ボリスブラウンの2品種の入賞となり、最高得点は前回と同様ジュリアライトとなりました。

審査員一同慎重審議の結果、農林水産大臣賞、千葉県知事賞、農林水産省畜産局長賞、農林水産省関東農政局長賞、日本養鶏協会会長賞、千葉県畜産総合研究センター長賞を各1点、千葉県農業協会会長賞を2点選定しました。またこれとは別に、部会特別賞を9点選定しました。

今後とも更なる良質な鶏卵の生産供給に御尽力いただきますようお願い申し上げます。

令和5年11月10日

令和5年度（第45回）千葉県鶏卵品質改善共進会
審査委員長 千葉県畜産総合研究センター長
島田 純